



千地申第2号

「未来が想像できる駅職場を創る」ための 申し入れを行う！

地本は支社より「変革2027」、「駅の変革」のスピードアップの実現に向けて、効率的で生産性の高い業務執行体制の構築を目的として、サービスマネージャーの見直しに伴う体制変更、窓口営業時間変更等に伴う体制変更、窓口閉鎖に伴う体制強化の提案を受けました。

私たちは、黒字化に向けて、駅輸送の安全を第一に新たな価値創造・収益拡大に向けて取り組んでいますが、「多くの職場で要員が減ってしまい、私たちはどこへ異動するのか」「窓口を閉鎖することで、お客さまへのサービスレベルが低下しないのか」などの不安の声が職場から上がっています。

地本は、会社の発展と組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感でき、未来を想像できる駅職場とするために、下記のとおり申し入れを行いました。

《要求項目》

1. 社会情勢が変化し、乗降人員が回復した場合の対応を明らかにすること。また、サービスマネージャーの見直しの根拠を明らかにすると共に、西船橋駅、千葉駅、舞浜駅のサービスマネージャーが担っていた業務を担務として残すこと。
2. チケットレスサービスなどの窓口を介さない乗車券類の発売件数の割合が示されないことが納得感と根拠にならないことから、みどりの窓口の閉鎖を再検討すること。
3. 成田駅のみどりの窓口閉鎖に関するお客さまへの周知をどのように行うのか明らかにすると共に、現場が解決できないご意見については支社が責任をもって対応すること。また、話せる指定席券売機導入にあたり、教育を不安がなくなるまで行うこと。
4. 千葉支社内における出札業務の展望について明らかにすること。また、モバイルSuicaやえきねっとなどの窓口を介さないシステムのトラブル等への対応するための教育体制について明らかにすること。
5. 窓口営業時間変更により体制変更を行う根拠と、定期券新規購入時や年末年始などの繁忙期の対応について明らかにすること。また、営業時間に対しては、各駅の実態に合わせた営業時間とすること。
6. 一部駅の改札で行われているインターホン対応実施の経緯を明らかにすること。また、不安全の完封やサービス品質の低下を拭えないことから、インターホン対応を再検討すること。
7. 新たなニーズの開拓や地域創生などの企画業務については、現行の各担務の業務量が減少するなどの変化点を経て実施すること。また、管理者等が超過勤務や健康管理など行える体制を構築すること。
8. 自動改札機や自動券売機等の見直しについては、現場社員の意見を反映すると共に、お客さまの安全を第一に実施すること。また、機器見直し時には各駅の営業時間や販売機器の一覧表を、系統の壁を越えて周知すること。
9. 作業ダイヤについては、働きがいが担保された職場の意見を尊重して作成すること。
10. お客さま混雑緩和のため、船橋駅の指定席券売機をみどりの窓口側のコーナーから券売機側のコーナーに1台移設すること。
11. 施策実施後に労使が検証を行い、問題等が生じた際は協議すること。

駅職場の未来が想像できるようにする為、皆さんの声を引き続き届けて頂き「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感出来る施策にしていきましょう！